

印刷局東京病院耳鼻咽喉科における 扁桃炎入院例の傾向

小 崎 寛 子

国立印刷局東京病院

平成15年6月より平成18年3月までの2年10ヶ月間に国立印刷局東京病院耳鼻咽喉科に入院となった扁桃炎症例は全部で60例であった。そのうちの15例が伝染性単核球症と診断された。11例が扁桃周囲膿瘍を、6例が咽後膿瘍を併発していた。40歳以下の症例では、咽頭痛のための摂食困難、脱水を主訴として受診し、入院となるケースが多かった。60歳以上の症例では咽後膿瘍や喉頭炎、CRP高値がみられる例が多かった。伝染性単核球症のうち2例では蛋白尿を呈した。また、1例はB型インフルエンザ陽性であった。高齢者では高血圧や糖尿病などの合併症が多く、また扁桃炎の経過も異なる事が考えられた。